

「ファイバースノウ」の収穫適期は  
5月30日頃からと予想!

## ○播種時期別の収穫適期予想

播種時期	子実水分が約25%となる時期 (収穫適期水分)
10月中下旬まき	5月30日頃から
11月上旬まき	6月5日頃から

**※収穫適期はほ場条件や今後の天候により変動  
します。上記の予想を参考にし、適期に収穫  
しましょう。**

## 近畿地方 1か月予報

近畿地方1か月予報(令和元年5月18日～6月17日までの天候見通し) 大阪管区气象台 5月16日発表

期間のはじめは気温がかなり高くなる見込みです。期間の前半は、天気は数日の周期で変わるでしょう。期間の後半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

向こう1か月の降水量は、平年並の確率40%です。日照時間は、平年並の確率40%です。

週別の気温は、1週目(5月18日～5月24日)は、高い確率70%です。2週目(5月25日～5月31日)は、高い確率50%です。3～4週目(6月1日～6月14日)は、高い確率50%です。

## ○収穫作業のポイント

### 1. 大麦の収穫適期は子実水分25%以下！

麦に露がつきやすい早朝・夕方・降雨後は、穀粒の水分が著しく上昇するため、収穫作業は避けてください。子実水分が25%以下になってから収穫しましょう。

《子実水分が高い場合のリスク》

- コンバインの回転数が高すぎると、打撃により粒が損傷し、品質が低下します。作業時の子実水分が高いと、より損傷粒が増加しやすくなるため、回転数を低下させましょう。
- 乾燥調製施設のホッパー等が詰まり、処理能力の低下や乾燥ムラの原因になります。
- 赤かび病等の病原菌がまん延したり、発熱や発酵、ムシやすくなります。

### 2. 赤かび粒は搬入しない！

赤かび粒が発生した場合は、絶対に施設に持ち込まないでください。

### 3. 収穫後は速やかに乾燥施設へ！

湿度の高い時期の収穫のため、ムシによる品質低下や赤かび病の感染拡大を防ぐ必要があります。収穫後は速やかに乾燥施設に搬入しましょう。

### 4. 刈り遅れに注意！

刈り遅れると、穂発芽や倒伏の増加、赤かび病の発生等で品質低下のリスクが高まります。

### 5. 必要に応じて刈り分けの判断を！

以下のような場合は、刈り分けが必要です。

- 遅れ穂が多い（選別時、未熟粒が混入する恐れがある）。
- 赤かび病の発生が多い。
- 倒伏の程度が大きい。
- 雑草の種子が混入する恐れがある（カラスノエンドウ、イタリアンライグラス等）。

## ○収穫に向けて今一度、排水対策の徹底を…！

登熟期の湿害は減収するだけでなく、品質を大きく低下させるので、排水溝を今一度点検し、速やかに排水するよう、溝さらえなどを徹底しましょう。